



健康関数[®]を用いた
世界初の総合的健康度評価で
人生 100 年時代の健康をデザインします

健康経営検診[®] のご案内

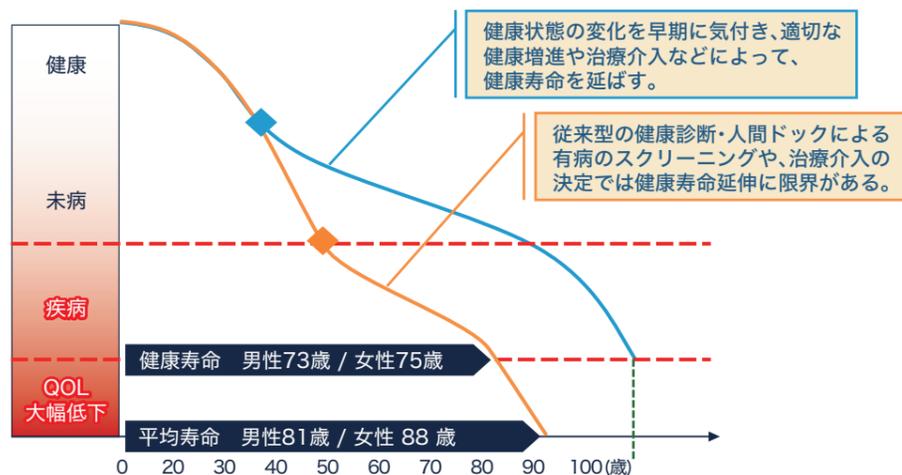
“病気を早期に発見する”だけでない、 “健康度を総合的に可視化する”ための 「健康経営検診[®]」

働くすべての人の健康度を、健康関数[®]で最大化

人生100年時代、経営者や従業員一人ひとりの心身の健康度を総合的に分析し、健康をできる限り最大化していくことが、組織全体のwell-beingにつながります。従来の「健康診断」や「人間ドック」では、病気の早期発見に主眼が置かれていました。しかし、健康寿命をさらに伸ばしていくためには、病気になる前の段階、つまり「健康・未病」の状態も含めて、すべての人たちの心身の健康度をトータルに見える化していくことが大切です。私たちが独自に開発した「健康関数[®]」というアルゴリズムによって新しく定義された総合

的健康度、日常活力度を全方位的に、精緻に評価し、一人ひとりの健康度の現在地を科学的に分析する。それが「健康経営検診[®]」です。企業で働く一人ひとりが自らの健康度の現在地を知り、ありたい自分に近づくためにどう進めばよいかを把握することで、職場での活力の向上や、さらなる働きやすさに向けた取り組みへとつながるでしょう。結果として、組織全体の持続可能な健康経営が実現します。

健康関数[®] 導入による健康寿命の延伸の実現



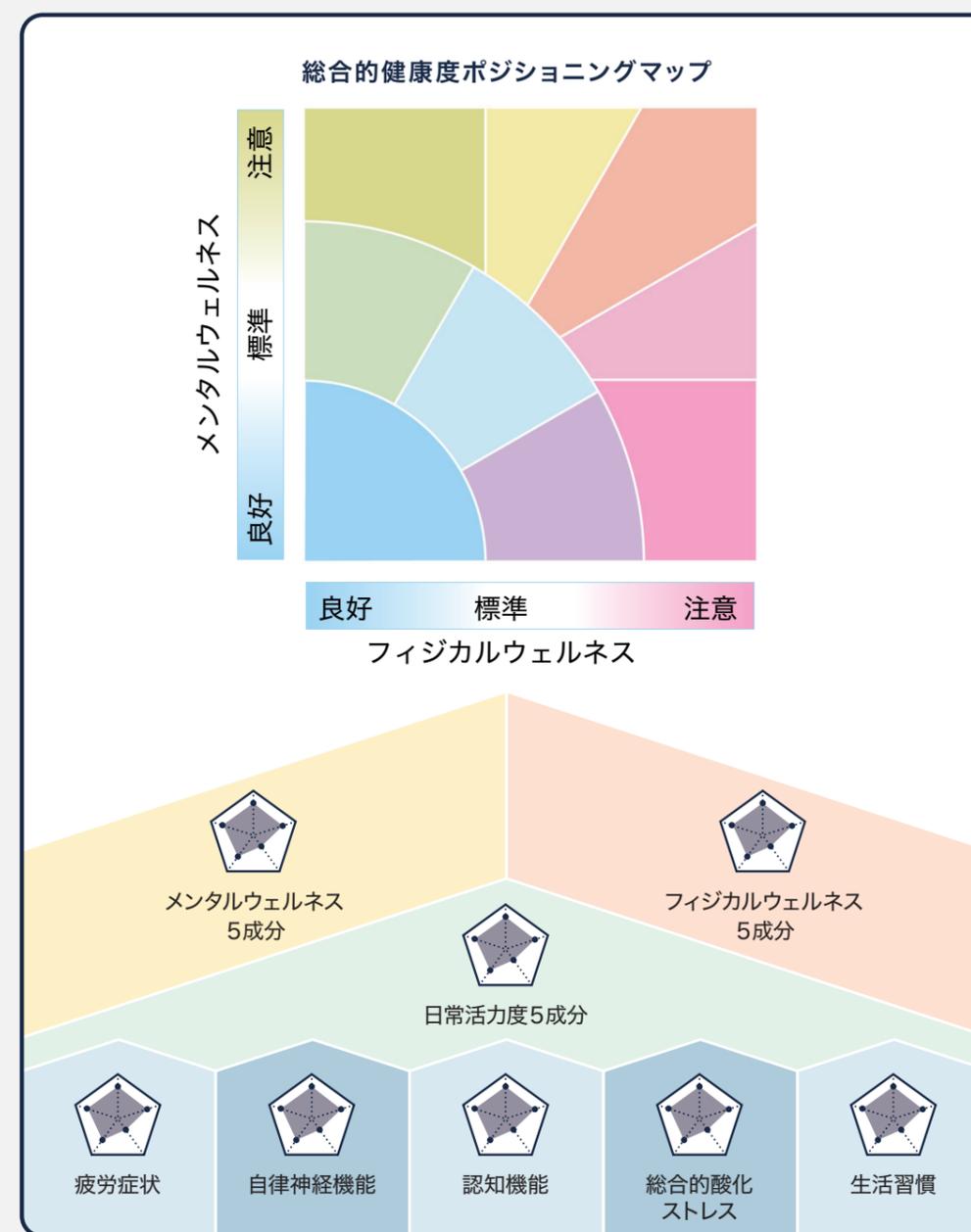
「健康関数[®]」とは？

日常生活や職場での「健康・未病」状態を網羅的に評価するために開発したマーカー群と、それを評価するための世界初の新たなアルゴリズムのこと。人間ドックなどの通常の有病スクリーニング指標に加えて、「健康・未病」状態を評価するために、認知機能・自律神経機能・メンタルウェルネス・睡眠状態や抗酸化力・免疫力・栄養状態といった指標なども組み入れて、あらゆる人の総合的健康度と日常活力度の可視化を実現しました。

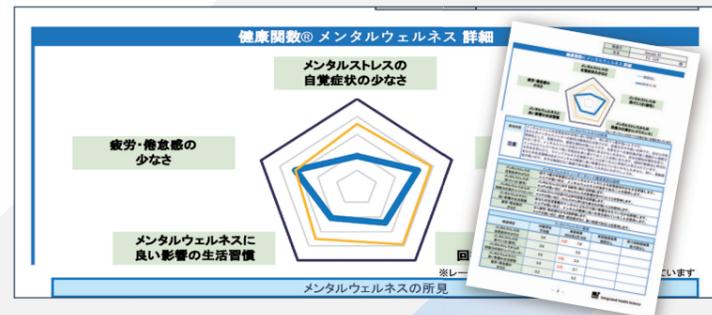
健康関数[®] によって 全身の状態や機能を定量化し、 複合的な指標で可視化

健康度の現在地をメンタルウェルネスとフィジカルウェルネスの2軸で表現する総合的健康度ポジショニングマップ、さらに、2軸と複合的・相互的に作用し合う日常活力度や酸化ストレス度などの細分化した指標を、それぞれレーダーチャートで

可視化します。「有病」のスクリーニングだけでなく、「疲労」の度合いや、「感情」認知の偏り、「抗酸化力」の高さなど、一人ひとりの心身の健康状態を、日常の連続性の中で精緻に分析します。



健康関数[®] メンタルウェルネス



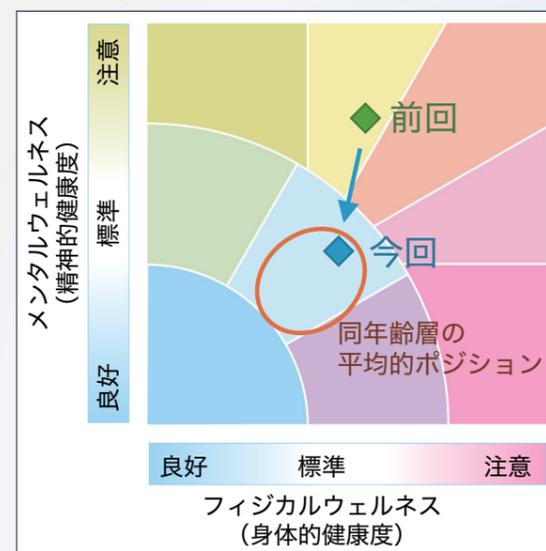
メンタルウェルネスは健康の重要な要素です。その一方で、定量的に評価することが難しく、その影響はしばしば見過ごされがちです。健康経営検診[®]では、多様な計測データを健康関数[®]に基づいて分析し、メンタルストレスの自覚症状や耐性、回復力の高さや疲労・倦怠感の強さなどを数値化して、メンタルウェルネスの状態を視覚化します。

健康関数[®] フィジカルウェルネス



肝機能や腎機能、血糖値や血圧といった検査項目に加えて、酸化ストレス度や生活習慣など、フィジカルウェルネスに関与する要素を健康関数[®]に基づいて分析し、スコアに反映させます。「総合的酸化ストレス度」(右下参照)は、体内にダメージを与える「酸化ストレス値」の高さと、このストレスから身体を防御する「抗酸化力」とのバランスによって導き出されます。従来の個別の検査項目だけでは評価できないフィジカルウェルネスを、多次元的要素から定量的に指標化します。

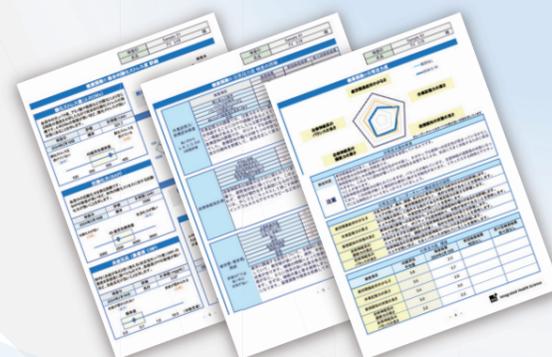
健康関数[®]に基づいたメンタルの健康度、日常などをレーダーチャート総合的健康度の現在地出します。



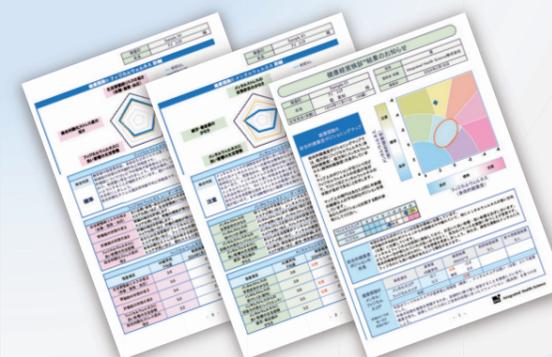
分析によって、フィジカル・活力度、酸化ストレス度で可視化、一人ひとりの(ポジショニング)を導き

総合的健康度 ポジショニングマップ

健康関数[®]によって導き出される受診者の総合的健康度の現在地をマップ上で示しています。縦軸が「メンタルウェルネス(精神的健康度)」を、横軸が「フィジカルウェルネス(身体的健康度)」を表現しています。縦軸では「低いほど」、横軸では「左に行くほど」、それぞれの健康度が良好であることを示しています。マップ上の楕円形は、受診者と同じ年齢層で「健康な人」の平均的ポジションを表します。自分が平均に近い位置にいるのか、あるいはどの方向に外れているのかなど、自身の健康度を把握する際の参考にもなります。

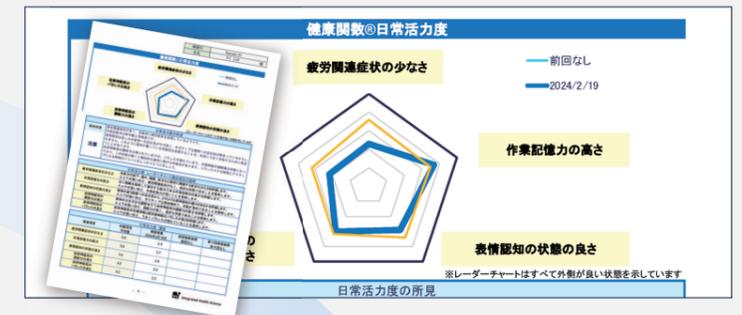


それぞれの分析結果を、詳細な所見



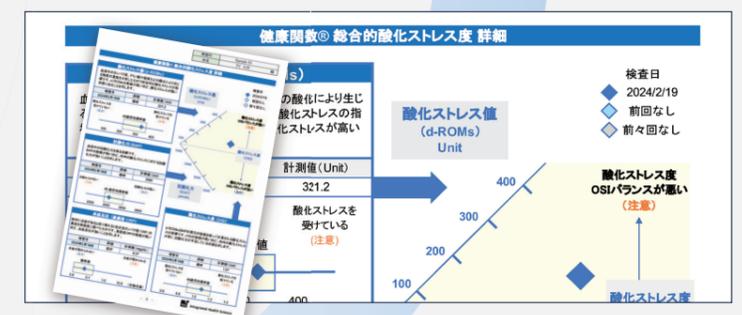
とともに結果表(レポート)にまとめます。

健康関数[®] 日常活力度



仕事などの緊張を伴う時間と、オフタイムのリラックスした時間の往復が、私たちの日常に活力をもたらします。この切り替えには、自律神経が身体さまざまな機能を適切に調節する必要がありますが、この調節がうまく働かなくなると慢性的な疲労につながる可能性が高まります。さらに、さまざまな感情表現への反応による「感情認知」の偏りや、作業記憶力の高さなど、心身のさまざまな働きを定量的に評価し、「日常活力度」として可視化します。

健康関数[®] 総合的酸化ストレス度



「酸化ストレス度」を総合的に評価するための主な指標は「酸化ストレス値」と「抗酸化力」です。たとえ酸化ストレス値が高くても、体内の抗酸化力が高ければ、酸化ストレスによる組織へのダメージは比較的抑えられる可能性があります。逆に、抗酸化力が低い場合、酸化ストレス値が少し上がるだけでも酸化によるダメージが悪化しやすくなります。酸化ストレスは多数の重要な細胞部品をサビつかせるとともに、体内の炎症反応を起こして慢性化させることがあり、慢性的な炎症は心血管疾患や糖尿病、癌などのさまざまな疾患のリスクを高める要因となりえます。

全従業員の総合的健康度のポジションを把握

社内・組織内で働くすべての人に健康経営検診®を受診してもらうことで、健康・未病の人にもさらなる健康増進を促します。健康関数®によって集団における健康度の低下リスクを科学的に顕在化させること

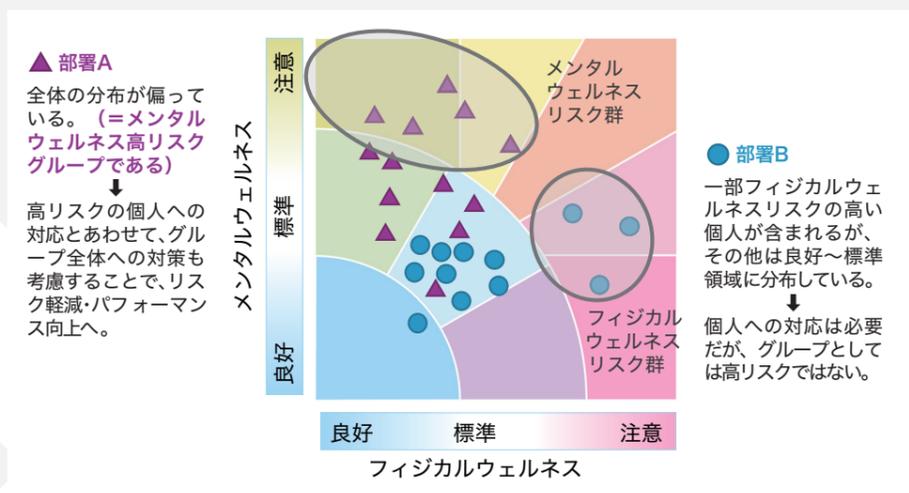
により、労務環境の改善にも早期かつ効果的に取り組むことができます。

ハイリスク者や有病者には早期の専門検診介入を実施、組織全体のwell-beingを実現させます。

活用例① 高リスクのグループを可視化

総合的健康度ポジショニングマップを用いて、受診者をグループに分類し、それぞれの集団のポジショニングの偏りを可視化することが可能です。これにより、「特定の集団(例えば部署や職種など)において一定のリスクが高くなっている状況」を早期に把握で

きるようになります。必要に応じて計測データとあわせて労務環境をチェックし高リスクの要因を分析することで、改善のために必要な対策を見出し、早期のリスク軽減、組織全体のパフォーマンス向上へとつなげることができます。



活用例② 定期的な受診によって現状に即したソリューションにつなげる

定期的なこの検診を実施することで、提供したソリューション(労務環境の見直しや、必要に応じた部署移動、生活環境の見直しなど)の効果を可視化します。結果につながっているソリューション

の継続、結果が出ていないソリューションの見直しなどを適宜行い、働く一人ひとりにきめ細かくアプローチしていくことができます。

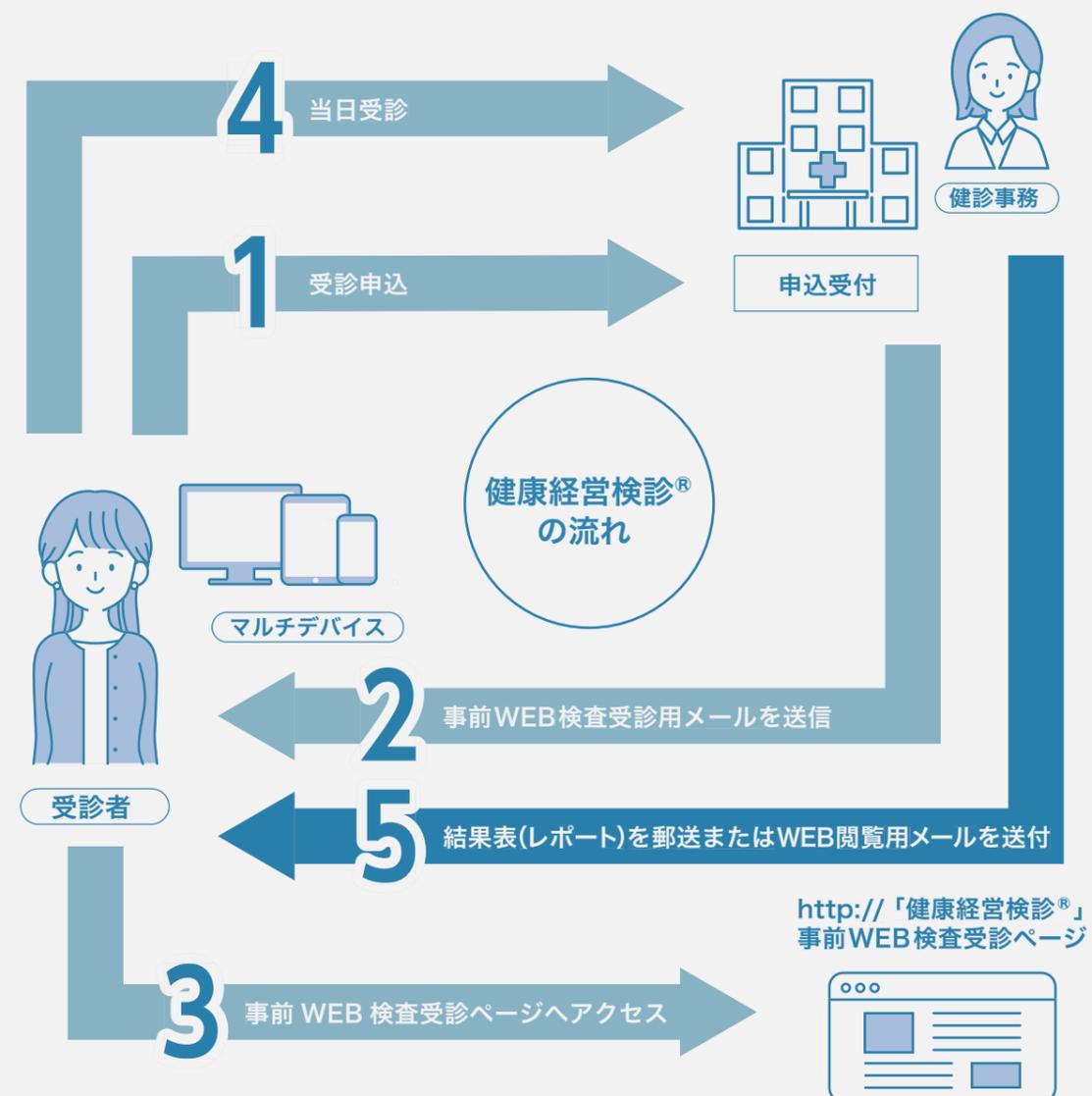
活用例③ 働く一人ひとりの意識改革で組織全体のパフォーマンス向上へ

健康関数®によって導き出された個々人の総合的健康度のポジショニング、各項目の分析を職場内で適切に共有することにより、健康増進のための意識改革を促進します。ポジショニングマップで健康度が可視化されることで、各自が自分の健康の現在地

と進むべき方向性に自覚的になり、健康増進や早期治療などに取り組むモチベーションが高まります。結果として、福利厚生の手厚な実施、従業員の生産性の向上と医療費の適正化などにつながり、企業の健康経営が実現します。

健康経営検診®は、通常の「人間ドック」や「健康診断」の追加オプションとして受診していただきます。企業団体や個人による事前の申込が必要です。

- 1 受診者が健診施設へ受診申込
- 2 健診施設の業務委託先のIntegrated Health Science社から受診者に事前WEB検査受診用メールを送信
- 3 受診者が事前WEB検査受診ページにアクセスし回答を入力
- 4 当日、健診施設にて受診
- 5 受診後、健診施設か健診施設の業務委託先より結果表(レポート)を郵送またはWEB閲覧用メールを送付



当日は、人間ドックや健康診断のこれまでの検査に加えて、一部の血液検査と計測機器やタブレットによる自律神経機能計測、認知機能計測、体組成計測などが追加されます。所要時間はコースにより約20～40分前後です。

会社概要

会社名 Integrated Health Science株式会社
インテグレートドヘルスサイエンス株式会社

所在地 本社：神戸市中央区伊藤町110-2神戸ポートビル旧居留地7階
計測デモ&R&D拠点：大阪市北区大深町6-38
グラングリーン大阪北館JAMBASE5階

設立 2023年11月20日

事業内容 健康増進・疾病予防といった
健康ソリューションの健康関数[®]計測評価サービス事業
健康経営検診[®]サービス事業
健康経営支援サービス事業
健康関数[®]計測バイオマーカー開発事業
上記に関するコンサルティング及び研究開発
・マーケティング支援サービス事業

URL: <https://integhs.jp>

問い合わせ先

Integrated Health Science株式会社

TEL: 090-7816-6226

Email: contact@integhs.jp